本書を使うにあたって

1. 「がんかもしれません」、または「がんです」と言われたときに、どこでがんに関する詳しい検査を受けるのか、どこで治療を受けるのかについて考えるときは、どうぞ本書を利用してください。本書は、北部医療圏（国頭村・大宜味村・東村・今帰仁村・本部町・名護市）に住んでいる方ががんになった場合を想定して、療養場所についての情報を掲載しています。
2. ご自分で読むのはもちろん、必要に応じて、ご家族やご親戚、ご友人と一緒にお読みください。いろいろな助言を得られることがあるはずです。
3. その上で、担当医、セカンドオピニオンを聴く医師と、療養場所について相談するとよいでしょう。
4. 治療が一段落した方や、経過観察となった方、もしくは再発した方にも、本書はどこで療養したらよいかのヒントを与えてくれると思います。
5. 本書の情報は2016年3月時点のものです。北部医療圏の病院および診療所勤務医は異動が多いため、対応できるがん種や治療の範囲が変わる可能性もあります。受診する際には、その点をご確認ください。

※本書では、県民の通称にならって、沖縄島を「本島」と表記しています。

＜免責条項＞

本書を発行するにあたっては、できるだけ実情を調査して執筆いたしました。また、記載した医療機関も本書に記載されていることを承知し、よりよい医療の提供に努めています。ただし、医療サービスの内容や質は完全に保証できるものではありません。ご自身の責任において、医療機関の選択や判断をお願いいたします。

がんの診断や治療を
どの医療機関で受けたらよいのか？

